



2018年7月7日（土）・8日（日）THE JAPAN LUNG CANCER SOCIETY PRECEPTORSHIP PROGRAM 2018 Advanced Courseを開催しました。

2日間に渡るJLCSPP2018のプログラムは下記の通りです。

■第1日目 2018年7月7日（土）

時間	内容	担当・講師	
12:00～12:30	Registration		
12:30～13:00	Pre-Questionnaire	長谷川 好規	教育研修委員会委員長
13:00～13:15	Opening Remarks	光富 徹哉	日本肺癌学会理事長
13:15～13:30	Orientation	長谷川 好規	教育研修委員会委員長
13:30～14:30	Lecture 1: プレゼンテーションスキル	松本 和也	マツモトメソッド
14:30～14:40	Q&A	堀之内 秀仁	国立がん研究センター中央病院
14:40～15:10	Lecture 2: 科研費など研究費の獲得方法	後藤 功一	国立がん研究センター東病院 呼吸器内科
15:10～15:40	Lecture 3: 論文の書き方	岡本 勇	九州大学病院 呼吸器科
15:40～15:50	Q&A	堀之内 秀仁	国立がん研究センター中央病院
15:50～16:00	Break Time		
16:00～16:30	Lecture 4: これからの臨床研究と生物統計	山中 竹春	横浜市立大学大学院 医学研究科臨床統計学
16:30～17:00	Lecture 5: がんにおけるPRO (Patient Reported Outcome) について	山口 拓洋	東北大学大学院 医学系研究科・医学部 医学統計学分野
17:00～17:30	Lecture 6: レギュラトリーサイエンス	藤原 康弘	国立がん研究センター中央病院 副院長 (研究担当)
17:30～17:45	Q&A	堀之内 秀仁	国立がん研究センター中央病院
17:45～18:05	Evening Seminar: 肺癌治療の歴史と展望	向山 亮平	ノバルティスファーマ(株)臨床開発部
18:05～18:45	座長: 長谷川好規	大江 裕一郎	国立がん研究センター中央病院
19:00～	Faculty and Participants Dinner		

■第2日目 2018年7月8日(日)

時間	内容	担当・講師	
8:00~8:30	Lecture 7: Patient Research Advocacy	長谷川 一男	肺癌患者の会 ワンステップ!
8:30~9:15	Lecture 8: 企業から見た創薬から上市	Darren AE Cross	アストラゼネカ グローバル部門
9:15~9:45	Lecture 9: 日本肺癌学会の取り組み	光富 徹哉	日本肺癌学会理事長
9:45~10:00	Q&A	堀之内 秀仁	国立がん研究センター中央病院
10:00~10:15	Break Time		
10:15~10:25	Group Work Orientation	長谷川 好規	教育研修委員会委員長
10:25~12:15	Group Work 君は日本肺癌学会に何を提案できるか? ~ Project X for Lung Cancer ~	堀之内 秀仁	国立がん研究センター中央病院
12:15~13:15	Luncheon Seminar 「肺癌診療・治療開発に最適なゲノム医療基盤を考える」 座長：光富徹哉	土原 一哉	国立がん研究センター先端医療開発センターTRグループ
13:15~15:00	Group Work Presentation & Discussion	堀之内 秀仁	国立がん研究センター中央病院
15:00~15:15	Post-Questionnaire	長谷川 好規	教育研修委員会委員長
15:15~15:30	Break Time		
15:30~15:45	Wrap Up Session	参加者全員	

【参加者アンケート (抜粋)】

- ・運営、指導の先生方大変ありがとうございました。すべてのセッションが、普段は聞けない貴重なお話だったと思います。これらからの診療、研究にとってもよい刺激になりました。
- ・コーチングスキルのとっかかりとして講義があってもよかったです。
- ・事前学習、課題などをあらかじめ出しておくとうれしかったです。
- ・論文の書き方などは、個人差が大きいと思うので複数の先生の意見が同時に聞けたらより参考になるし、いい discussion ができるのではないかと思います。プレゼンテーションは医師でない松本さんが講義してくれて、非常にクリアで一番刺激を受けました。
- ・今回2回目で参加させて頂きましたが、今回も大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。ただ、前回もそうでしたがやはりもう少し座学ではなく、グループでのディスカッションなどが出来ればと更に良いのではないかと思います。今後は前回、今回の経験をもとに、受け身でなく少しでも肺癌研究、診療の向上に貢献できるように努力したいと考えています。もし、可能であれば、今後のこのプログラムの発展のために少しでもお手伝い出来ればと思います。このようなプログラムに参加させて頂き感謝しています。ありがとうございました。
- ・肺癌学会がこれほどまでに多くの活動をしていることを恥ずかしながら知りませんでした。ホームページ

ジは定期的にチェックしていますので、比較的目立つ箇所や興味のある記事は目にします（肺癌医療向上委員会など）。ただ、レギュラトリーサイエンスなどの普段接することのほとんどない分野については、このプログラムに参加しなければ今後も知ることはなかったもので、非常にためになりました。論文の書き方や科研費の獲得方法が重要であることは重々分かっているつもりですが、1時間では到底レクチャーできることではないと思うので、その点は今後も改善できると思います。応募時の志望動機に記載しましたが、世界における日本や日本肺癌学会の立場を理解したり、将来自分たちが肺癌学会を背負っていくうえで理解すべきことなど、自分がこれまで分かっていなかったことに触れるいい機会となりました。ありがとうございました。

- 1日目からグループワークをやりたかったです。でも、前回同様に、楽しかったです。レクチャーは、もっと海外からのスタッフが多いとよかったです。英語しぼりで良いと思いました。
- 臨床試験の話や論文の書き方などの話しも面白いとは思いますが 今後につながる提案ができるようなプログラムが良いと思う。時間が短いので1回で終わるプログラムではなく2回分けて継続的にディスカッションして発表するプログラムなど。
- 講義に関しては、やや内科寄りに感じました。講義の枠には制限があることは存じていますので、各講義で外科放射線科にからめた話題がもう少しあるとよいと感じました。
- advanced course から参加し、大変勉強になりました。